

# 平成16年度ホンモロコ資源状況調査

太田 滋規

## ◆背景・目的

ホンモロコは、琵琶湖漁業における重要漁獲対象種であるが、その漁獲量は、昭和30年頃から150～350トン程度漁獲されていたが、平成8年頃から急激に減少し、平成16年には5トンと大幅に減少してきている。そこで、資源管理の基礎的なデータを得ることを目的に、冬季における資源状況の調査を行った。

## ◆成果の内容・特徴

- 資源尾数の推定はALC耳石標識を施したホンモロコ57,600尾(平均体長62.61mm)を平成16年12月1日に北湖4水域に等分して放流し、沖曳網漁獲魚(1,395尾)の追跡調査により行った。
- ピーターセン法により0歳魚資源尾数およびその95%信頼限界を推定すると、1,012,000尾<1,264,000尾<1,7022,000尾となった。
- 沖曳網漁獲ホンモロコの年齢および雌雄別の平均体長と尾数を表1に示した。0歳魚が全体の90%以上を占めていることや、雌雄比は1歳魚以上のものでは雌に偏ること、また、平均体長はそれぞれの年齢で雌の方が大きいことは、これまでの調査結果と同様であった。

## ◆成果の活用・留意点

- 推定された0歳魚資源尾数と調査で得られた0歳魚の平均体重8.5gから資源重量を算出すると11トンとなり、資源は非常に厳しい状況であると考えられる。
- 資源状況のモニタリングとして継続実施する必要がある。

表1 沖曳網で漁獲されたホンモロコの年齢および雌雄別の平均体長と尾数

	雌			雄			不明			合計尾数	尾数割合 (%)
	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合 (%)	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合 (%)	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合 (%)		
0歳	81.90±6.62	610	43.7	77.32±6.71	650	46.6	77.87±2.06	4	0.3	1264	90.6
1歳	101.41±4.75	75	5.4	92.79±5.91	37	2.7	—	0	—	112	8.0
2歳	110.46±6.47	15	1.1	103.34±2.31	3	0.2	—	0	—	18	1.3
3歳	123.44	1	0.1	—	0	—	—	0	—	1	0.1
合計		701	50.3		690	49.5		4	0.3	1395	100.0